

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月7日

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1605 URL http://www.inpex.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 隆之  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット ジェネラルマネージャー (氏名) 細野 宗宏 (TEL) 03-5572-0233  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	438,205	△2.2	226,434	21.9	246,977	26.4	34,034	12.9
30年3月期第2四半期	447,922	15.0	185,827	34.6	195,415	47.8	30,152	91.7

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 129,565百万円(55.3%) 30年3月期第2四半期 19,772百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	23.31	—
30年3月期第2四半期	20.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	4,794,067	3,272,841	63.1
30年3月期	4,252,386	3,158,868	68.6

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 3,027,128百万円 30年3月期 2,916,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
31年3月期	—	9.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	15.00	24.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 平成31年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 9円00銭 記念配当 6円00銭

(注3) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注4) 配当予想の修正については、本日(平成30年11月7日)に公表いたしました「2019(平成31)年3月期 配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,001,000	7.2	476,000	33.2	487,000	25.8	60,000	48.7	41.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	1,462,323,600株	30年3月期	1,462,323,600株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	2,123,800株	30年3月期	1,966,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	1,460,312,157株	30年3月期2Q	1,460,357,100株

(注)平成31年3月期第2四半期の自己株式数には、役員報酬BIP信託の保有する当社株式157,300株が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページを参照してください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	3,600.00	—	3,600.00	7,200.00
31年3月期	—	3,600.00			
31年3月期(予想)			—	6,000.00	9,600.00

(注1) 平成31年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 3,600円 記念配当2,400円

(注2) 平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

(注3) 配当予想の修正については、本日(平成30年11月7日)公表いたしました「2019(平成31)年3月期 配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12
3. 参考情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は油価が上昇したものの、販売数量が減少したことにより、売上高は前年同期比97億円、2.2%減の4,382億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比420億円、12.7%増の3,729億円、天然ガス売上高は前年同期比528億円、47.7%減の579億円となりました。当第2四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比11,068千バレル、19.2%減の46,462千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比82,325百万立方フィート、54.4%減の69,026百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比84,375百万立方フィート、71.9%減の32,971百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比55百万立方メートル、6.0%増の966百万立方メートル、立方フィート換算では36,055百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり73.16米ドルとなり、前年同期比21.91米ドル、42.8%の上昇となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり2.67米ドルとなり、前年同期比2.47米ドル、48.1%の下落となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり49円85銭となり、前年同期比4円21銭、9.2%の上昇となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル109円59銭となり、前年同期比1円73銭、1.6%の円高となりました。

売上高の減少額97億円を要因別に分析しますと、原油及び天然ガスの売上高に関し、販売数量の減少により1,109億円の減収、平均単価の上昇により1,066億円の増収、売上の平均為替レートが円高となったことにより65億円の減収、その他の売上高が10億円の増収となりました。

一方、売上原価は前年同期比461億円、20.8%減の1,760億円、探鉱費は前年同期比0億円、6.7%増の10億円、販売費及び一般管理費は前年同期比42億円、10.9%減の347億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比406億円、21.9%増の2,264億円となりました。

営業外収益は、持分法による投資利益の増加等により、前年同期比179億円、114.7%増の336億円となりました。営業外費用は前年同期比69億円、115.4%増の130億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比515億円、26.4%増の2,469億円となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計額は前年同期比443億円、27.4%増の2,059億円となり、四半期純利益は前年同期比72億円、21.4%増の410億円となりました。非支配株主に帰属する四半期純利益は70億円となり、以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比38億円、12.9%増の340億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ① 日本

販売数量の増加、ガス価の上昇により、売上高は前年同期比81億円、16.0%増の586億円となり、営業利益は前年同期比20億円、16.5%増の142億円となりました。

## ② アジア・オセアニア

油価は上昇したものの、販売数量の減少により、売上高は前年同期比789億円、84.3%減の147億円となり、前年同期の営業利益253億円に対し、当期は3億円の営業損失となりました。

## ③ ユーラシア(欧州・NIS諸国)

販売数量の増加、油価の上昇により、売上高は前年同期比247億円、70.1%増の601億円となり、営業利益は前年同期比110億円、131.5%増の194億円となりました。

## ④ 中東・アフリカ

販売数量は減少したものの、油価の上昇により、売上高は前年同期比364億円、13.9%増の2,986億円となり、営業利益は前年同期比553億円、37.1%増の2,046億円となりました。

## ⑤ 米州

油価は上昇したものの、販売数量の減少により、売上高は前年同期比1億円、1.7%減の60億円となり、営業損失は前年同期比4億円、16.1%減の21億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4兆7,940億円となり、前連結会計年度末の4兆2,523億円と比較して、5,416億円の増加となりました。流動資産は6,460億円で、現金及び預金の増加等により前連結会計年度末と比較して1,797億円の増加となりました。固定資産は4兆1,480億円で、有形固定資産及び投資その他の資産の増加等により前連結会計年度末と比較して3,619億円の増加となりました。

一方、負債は1兆5,212億円となり、前連結会計年度末の1兆935億円と比較して4,277億円の増加となりました。このうち流動負債は4,612億円で、前連結会計年度末比1,558億円の増加、固定負債は1兆599億円で、前連結会計年度末比2,718億円の増加となりました。

純資産は3兆2,728億円となり、前連結会計年度末比1,139億円の増加となりました。このうち、株主資本は2兆5,889億円で、前連結会計年度末比207億円の増加となりました。その他の包括利益累計額は4,381億円で、前連結会計年度末比897億円の増加、非支配株主持分は2,457億円で、前連結会計年度末比35億円の増加となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の2,760億円から当第2四半期中に減少した資金150億円を差し引いた2,610億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比303億円減の1,108億円となりました。これは主に、法人税等の支払額が増加したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比2,294億円増の4,577億円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が減少したことや長期貸付けによる支出が増加したことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、前年同期比2,828億円増の3,251億円となりました。これは主に、長期借入れによる収入が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期連結業績予想については、平成31年3月期第2四半期連結累計期間の実績などを加味した結果、平成30年8月9日に公表の数値から下記のとおりの修正を行いました。

通期連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	945,000	460,000	463,000	48,000
今回修正予想(B)	1,001,000	476,000	487,000	60,000
増減額(B-A)	56,000	16,000	24,000	12,000
増減率(%)	5.9	3.5	5.2	25.0

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	第1四半期実績	75.0ドル/バレル	上期(実績)	75.4ドル/バレル
	第2四半期以降	70.0ドル/バレル	下期	70.0ドル/バレル
	通期平均	71.2ドル/バレル	通期平均	72.7ドル/バレル
為替 (対米ドル)	第1四半期実績	109.1円/ドル	上期(実績)	110.3円/ドル
	第2四半期以降	110.0円/ドル	下期	110.0円/ドル
	通期平均	109.8円/ドル	通期平均	110.1円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	276,102	425,742
受取手形及び売掛金	66,900	101,394
たな卸資産	32,321	31,539
その他	112,011	111,644
貸倒引当金	△20,984	△24,263
流動資産合計	466,350	646,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	201,045	192,881
坑井（純額）	38,323	31,985
機械装置及び運搬具（純額）	99,472	91,538
土地	19,098	19,119
建設仮勘定	1,678,743	1,865,472
その他（純額）	7,936	6,578
有形固定資産合計	2,044,619	2,207,575
無形固定資産		
のれん	54,037	50,657
その他	487,465	473,404
無形固定資産合計	541,502	524,061
投資その他の資産		
投資有価証券	367,417	379,980
長期貸付金	295,861	511,491
生産物回収勘定	589,098	585,361
その他	31,675	25,910
貸倒引当金	△849	△806
生産物回収勘定引当金	△81,625	△83,345
探鉱投資引当金	△1,664	△2,218
投資その他の資産合計	1,199,913	1,416,372
固定資産合計	3,786,035	4,148,009
資産合計	4,252,386	4,794,067



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,675	27,032
短期借入金	71,250	122,445
コマーシャル・ペーパー	—	72,000
未払法人税等	17,234	40,780
事業損失引当金	9,887	10,037
探鉱事業引当金	4,005	3,734
役員賞与引当金	62	31
資産除去債務	407	300
その他	156,915	184,900
流動負債合計	305,439	461,261
固定負債		
長期借入金	627,326	887,797
株式給付引当金	—	7
特別修繕引当金	380	400
退職給付に係る負債	5,937	6,119
資産除去債務	111,128	120,346
その他	43,305	45,292
固定負債合計	788,078	1,059,963
負債合計	1,093,517	1,521,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	673,574	673,574
利益剰余金	1,609,094	1,629,985
自己株式	△5,248	△5,434
株主資本合計	2,568,230	2,588,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,217	16,406
繰延ヘッジ損益	25,724	36,138
為替換算調整勘定	312,507	385,648
その他の包括利益累計額合計	348,449	438,193
非支配株主持分	242,188	245,713
純資産合計	3,158,868	3,272,841
負債純資産合計	4,252,386	4,794,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	447,922	438,205
売上原価	222,176	176,036
売上総利益	225,745	262,168
探鉱費	944	1,007
販売費及び一般管理費	38,973	34,726
営業利益	185,827	226,434
営業外収益		
受取利息	4,070	4,128
受取配当金	2,040	1,402
持分法による投資利益	2,110	10,565
生産物回収勘定引当金戻入益	2,789	—
為替差益	59	5,298
受取補償金	—	7,453
その他	4,583	4,757
営業外収益合計	15,653	33,607
営業外費用		
支払利息	3,200	4,794
生産物回収勘定引当金繰入額	—	1,690
その他	2,865	6,579
営業外費用合計	6,066	13,065
経常利益	195,415	246,977
税金等調整前四半期純利益	195,415	246,977
法人税、住民税及び事業税	156,464	200,722
法人税等調整額	5,133	5,210
法人税等合計	161,598	205,932
四半期純利益	33,816	41,044
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,664	7,010
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,152	34,034

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	33,816	41,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,789	6,185
為替換算調整勘定	△17,564	72,049
持分法適用会社に対する持分相当額	1,730	10,286
その他の包括利益合計	△14,044	88,521
四半期包括利益	19,772	129,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,965	123,777
非支配株主に係る四半期包括利益	806	5,788

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	195,415	246,977
減価償却費	45,448	41,710
のれん償却額	3,380	3,380
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	△2,748	1,720
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	△148	△241
その他の引当金の増減額(△は減少)	356	3,848
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15	234
受取利息及び受取配当金	△6,110	△5,531
支払利息	3,200	4,794
為替差損益(△は益)	△3,560	△4,355
持分法による投資損益(△は益)	△2,110	△10,565
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	34,987	10,007
生産物回収勘定(非資本支出)の増減額(△は増加)	1,236	9,833
売上債権の増減額(△は増加)	△10,738	△34,355
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,398	△1,626
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,093	△18,602
その他	20,935	28,370
小計	270,068	275,599
利息及び配当金の受取額	16,784	8,562
利息の支払額	△1,952	△3,439
法人税等の支払額	△143,731	△169,866
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,169	110,855
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△260,435	△248,107
定期預金の払戻による収入	333,933	88,231
有形固定資産の取得による支出	△139,218	△116,988
有形固定資産の売却による収入	65	30
無形固定資産の取得による支出	△950	△531
投資有価証券の取得による支出	△126,308	△1,449
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△13,622	△15,319
短期貸付金の増減額(△は増加)	127	△230
長期貸付けによる支出	△23,542	△182,578
長期貸付金の回収による収入	135	129
その他	1,480	19,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△228,336	△457,790

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	72,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40	—
長期借入れによる収入	77,612	295,389
長期借入金の返済による支出	△19,506	△23,069
非支配株主からの払込みによる収入	—	50
配当金の支払額	△13,145	△13,146
非支配株主への配当金の支払額	△2,523	△5,832
その他	△15	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー	42,381	325,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,199	6,687
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△45,986	△15,052
現金及び現金同等物の期首残高	316,790	276,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	270,804	261,027

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	50,570	93,633	35,342	262,245	6,130	447,922	—	447,922
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	50,570	93,633	35,342	262,245	6,130	447,922	—	447,922
セグメント利益又は損失(△)	12,197	25,356	8,397	149,305	△2,563	192,692	△6,865	185,827

(注) 1 セグメント利益の調整額△6,865百万円は、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,873百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	58,678	14,714	60,115	298,670	6,026	438,205	—	438,205
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	58,678	14,714	60,115	298,670	6,026	438,205	—	438,205
セグメント利益又は損失(△)	14,211	△312	19,437	204,652	△2,151	235,838	△9,403	226,434

(注) 1 セグメント利益の調整額△9,403百万円は、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△9,410百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの 名称	区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
日本	原油	0.7百万バレル (日量3.7千バレル)	0.6百万バレル (日量3.5千バレル)
	天然ガス	26.9十億CF (日量146.9百万CF)	24.5十億CF (日量134.0百万CF)
	小計	5.7百万BOE (日量31.3千BOE)	5.2百万BOE (日量28.6千BOE)
	ヨード	266.1t	266.1t
	発電	105.4百万kWh	110.4百万kWh
アジア・オセアニア	原油	4.8百万バレル (日量26.4千バレル)	1.2百万バレル (日量6.4千バレル)
	天然ガス	91.2十億CF (日量498.2百万CF)	22.5十億CF (日量122.9百万CF)
	小計	22.0百万BOE (日量120.2千BOE)	5.2百万BOE (日量28.2千BOE)
	発電	72.7百万kWh	210.2百万kWh
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	7.4百万バレル (日量40.2千バレル)	8.2百万バレル (日量44.9千バレル)
	天然ガス	3.7十億CF (日量20.3百万CF)	4.9十億CF (日量26.6百万CF)
	小計	8.0百万BOE (日量43.8千BOE)	9.1百万BOE (日量49.6千BOE)
	硫黄	—	43.5千t
中東・アフリカ	原油	47.6百万バレル (日量260.2千バレル)	41.8百万バレル (日量228.7千バレル)
米州	原油	1.1百万バレル (日量5.7千バレル)	0.6百万バレル (日量3.4千バレル)
	天然ガス	19.7十億CF (日量107.8百万CF)	17.2十億CF (日量93.9百万CF)
	小計	4.6百万BOE (日量25.0千BOE)	3.7百万BOE (日量20.2千BOE)
合計	原油	61.6百万バレル (日量336.3千バレル)	52.5百万バレル (日量286.8千バレル)
	天然ガス	141.5十億CF (日量773.2百万CF)	69.1十億CF (日量377.5百万CF)
	小計	87.9百万BOE (日量480.6千BOE)	65.0百万BOE (日量355.3千BOE)
	ヨード	266.1t	266.1t
	発電	178.2百万kWh	320.6百万kWh
	硫黄	—	43.5千t

- (注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含まれます。  
 2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。  
 3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から9月30日の実績となっております。  
 4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第2四半期連結累計期間は原油71.7百万バレル(日量391.7千バレル)、天然ガス175.5十億CF(日量959.2百万CF)、合計104.5百万BOE(日量570.9千BOE)、当第2四半期連結累計期間は原油59.3百万バレル(日量324.0千バレル)、天然ガス76.1十億CF(日量416.0百万CF)、合計73.1百万BOE(日量399.3千BOE)となります。  
 5 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量  
 6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。  
 7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。



②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	470千バレル	2,825	386千バレル	3,343
	天然ガス (LPGを除く)	34,005百万CF	41,589	36,055百万CF	48,162
	LPG	2千バレル	11	2千バレル	11
	その他		6,144		7,161
	小計		50,570		58,678
アジア・オセアニア	原油	4,160千バレル	26,398	1,033千バレル	8,317
	天然ガス (LPGを除く)	92,664百万CF	64,696	10,147百万CF	5,989
	LPG	585千バレル	2,538	74千バレル	407
	小計		93,633		14,714
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	5,981千バレル	34,731	7,124千バレル	59,125
	天然ガス (LPGを除く)	3,724百万CF	610	4,869百万CF	921
	その他		—		68
	小計		35,342		60,115
中東・アフリカ	原油	45,979千バレル	262,245	37,353千バレル	298,670
米州	原油	940千バレル	4,721	566千バレル	3,532
	天然ガス (LPGを除く)	20,957百万CF	1,408	17,955百万CF	2,493
	小計		6,130		6,026
合計	原油	57,530千バレル	330,923	46,462千バレル	372,989
	天然ガス (LPGを除く)	151,351百万CF	108,305	69,026百万CF	57,566
	LPG	587千バレル	2,549	76千バレル	418
	その他		6,144		7,230
	合計		447,922		438,205

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から6月の業績を第2四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。